

(計画名)	奈良地区近郊整備区域建設計画
(策定主体)	奈良県
(地域の課題)	
<p>○ 今なお都市化が進む本地区においては、<u>交通混雑や水質汚濁</u>、保水・遊水機能の低下などの<u>都市化の弊害が顕在化</u>し、加えて、<u>産業機能をはじめとした様々な都市機能の京阪神地域への依存傾向が強い</u>などの諸課題を抱えている。</p> <p>○ 本地区の<u>人口動態については、平成12年をピークに減少しつつあり</u>、特に、<u>生産年齢人口の減少による労働力不足が予想されているため</u>、<u>高齢者、女性労働者、若年労働者等の雇用環境の改善</u>などが必要である。</p>	
(計画の概要)	
(1) 総合的な交通ネットワークの形成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京阪神大都市圏、関西国際空港、関西文化学術研究都市への円滑なアクセス、県内の歴史的・文化的資源とのアクセスの改善を図るため、<u>京奈和自動車道、五條新宮道路、学研都市連絡道路</u>などの幹線道路網の整備を推進する。</li> <li>・ 市街地での渋滞対策、奈良らしさを活かした沿道景観の整備を進めるとともに、<u>けいはんな線延伸の促進を進める</u>など公共交通網の充実を図る。</li> </ul>	
(2) 「関西の憩いのオアシス」の形成推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界に誇り得る貴重な歴史文化遺産や恵まれた自然環境を保全・活用することにより、奈良の新しい魅力づくりを進め、<u>滞在型・宿泊型観光の推進、外国人観光客の誘致を推進</u>する。</li> <li>・ 平城遷都1300年記念事業を通して、歴史文化をテーマに全国や世界の人々との交流を広げ、<u>歴史文化首都「なら」の魅力づくりを推進</u>する。</li> </ul>	
(3) 安全で快適に暮らせる住み良い生活環境の確保	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>公営住宅をはじめとする住宅整備、県営都市公園などの公園緑地の整備、JR奈良駅周辺地区などの土地区画整理事業、下水道をはじめとする生活排水処理施設整備、廃棄物処理施設整備</u>など生活環境施設の整備を図る。</li> <li>・ ユビキタスネット社会に対応した高度情報通信基盤整備の推進を図る。</li> </ul>	
(4) 活力ある奈良をめざした産業振興	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好な自然・居住環境を備えた、<u>文化・学術・研究開発拠点としての関西文化学術研究都市の整備を促進</u>し、<u>産研学連携による共同研究を通じ、研究成果を県内産業へ技術移転</u>を図る。</li> <li>・ 特産品ブランドづくりなど地域特性を生かした農林業、地場産業の振興を図る。</li> </ul>	